

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



次世代を担う
若者たち

～馬鈴薯の病害株抜き取り作業を行う植松和希さん～
(紹介は8ページ)



工事の安全を願つて

—麦乾工場増設工事の安全祈願祭—



● 鍬入之儀を行う川上組合長

小麦乾燥調製貯蔵施設の増設工事に伴う安全祈願祭が、5月30日に常呂町岐阜の小麦乾燥調製貯蔵施設で行われ、JA役職員を始め関係機関や工事関係者約30人が出席しました。同祈願祭では、当JAの川上和則組合長が力強く鍬を入れを行い、出席者が順番に玉串奉奠を行い、工事の安全を祈願しました。



麦乾工場増設工事を行う部分



● 激励状を伝達する川上組合長(左)と受け取る米山さん

JJAとじゅう（川上組合長）は5月29日、当JA会議室で、令和元年度新規就農者激励状伝達式を行いました。

この伝達式は、北海道農業・農村を担う一員として、新しく農業に意欲をもつて取り組む青年に毎年、JA北海道グループ五連（中央会、木クレン、信連、厚生連、共済連）会長連名の激励状と記念品を贈呈しています。

当JAでは、本年度の人の新規就農者に授与されました。



● 後列左から：内匠管理部長、鈴木生産部長、石川所長
川上組合長、辻自治区長、土屋主幹、今橋信用部長
前列左から：米山東亜さん、大友雅也さん、佐藤陸也さん
大江慎悟さん、江田拳さん、森澤佑紀さん

今後の活躍を期待して

—新規就農者激励状伝達式—

伝達式には、当JAの川上組合長をはじめ、北見市辻孝宗常呂自治区長、網走農業改良普及センター石川卓治所長、JA北海道中央会北見支所土屋慶年主幹に同席頂き、川上

組合長から一人ひとりに激励状が手渡され、その後、辻自治区長、石川所長とともに新規就農者の皆さんに今後の活躍を期待する激励の言葉が送られました。

JA富良野では今後労働力の軽減対策として期待される玉葱の茎葉処理施設の視察を行いました。今後も良品質玉葱の長期安定供給や労働力軽減対策などの問題について取り組んでいく事を再確認

JA富良野では低温外気を利用し少ないエネルギーで農産物の最適な温度・湿度を保つ事により、発芽や腐敗などの病気の蔓延を防ぎ長期間高い品質を維持する作物乾燥貯蔵システムの視察を行いました。

JJA豊頃では低温外気を利用し少ないエネルギーで農産物の最適な温度・湿度を保つ事により、発

芽や腐敗などの病気の蔓延を防ぎ長期間高い品質を維持する作物乾燥貯蔵システムの視察を行いました。

JA富良野はJAとJA豊頃ともにJAとJAの2ヶ所で実施しました。

玉葱振興会役員道内視察研修

常呂町玉葱振興会（泉直喜会長）は6月5日～6日の2日間、常呂町玉葱

修となりました。
することことができた実りある役員視察研修



●玉葱の茎葉処理施設を視察する役員の皆さん

植え付け作業教える —JAとこころ青年部 食育事業—



JJAとこころ青年部（安藤貴彦部長）は5月24日、常呂町内岐阜地区の圃場で町内の小学校（常呂小、錦水小、川沿小）の3年生と4年生を対象にした『食農教育』を行い、児童48人が参加しました。

この取り組みは、将来を担う子どもたちに、青年部が本町で生産される各作物の生産過程と消費過程をわかりやすく説明し、農業に対する興味や関心を持つてもらうこととあわせ、青年部員らも『農業を伝える力』を身に着けることを目的に平成23年度から行われています。

例年は各作物の植え付け作業から

収穫作業までの過程を写真やクイズを

用いて説明しておりましたが、今回は甜菜や玉葱、馬鈴薯などの作物の植え付け作業を行いました。参加した児童は『植え付けの体験ができる楽しかった』『収穫作業が樂しみ』と笑顔で感想を話してくれました。



上：てん菜の植え方を教える安藤部長(右)
下：食育事業に参加した青年部と児童の皆さん

製造工程を学びよし良い営農へ

常呂町4Hクラブ 会長 山本 将大

常呂町4Hクラブは6月3日～4日の二日間、会員23人が参加し、札幌近郊の視察研修を行いましたので研修要点を報告致します。

カルビー製品 製造工程学ぶ

視察研修の初日は、千歳市の北信濃にあるカルビー北海



● 視察研修に参加したクラブ員

道工場を訪れました。同工場では、道央方面の加工馬鈴薯を使用し、ポテトチップス、堅あげポテトを生産していました。工場見学では普段見ることができないような大きな生産ラインで大規模ながらも少人数で作業している様子をみせてもらうことができました。

担当者の話によると馬鈴薯の品質状態次第では、生産ラインに足の踏み場もないほど選別しきれない馬鈴薯が散らばってしまうと聞き、品質の良い馬鈴薯作りに取り組まなければならぬと思いました。

また、研修では工場の歴史や商品展開のスライドショーも見せていただき、生産者視点だけでなく製造者視点での馬鈴薯の知識を学ぶことができました。

生産ラインの 精密機械



● ビールの原料を手に取るクラブ員

玉葱・南瓜の 栽培方法学ぶ

2日目は、長沼町にあるタキイ種苗長沼研究農場を訪問しました。同研究農場では、品種試験を行っており、研究者から、南瓜の新品種や北海道での栽培状況を説明していただきました。現在、北海道における南瓜の栽培面積が年々減少している一方で全国的に南瓜の需要が高まっており、今後期待できる作物だと熱弁されました。また、南瓜の栽培概要などの説明もしていただきました。特に南瓜は蔓の処理によって大きさをある程度コントロールできることなど、南瓜を耕作している新しいクラブ員にとって新たな知識となつたと考えます。

次に、札幌市白石区にあるアサヒビール北海道工場を視察しました。同工場では、原材料である大麦、ホップなどの農作物の香りを嗅いだり触ったりすることができ、醸造についての過程を詳しく教えて



● 玉葱と南瓜の栽培方法について学びました

次に玉葱の品種について説明していただきました。本町で玉葱を栽培している農家が多いのもあり、玉葱の抽苔や病気について活発な意見、質問などが挙げられました。各作物の専門家と意見交換することができ、とても有意義な研修となりました。

今回の視察研修で学んだことを今後の農業経営に活かしより良い営農ができるようこれから努めていきたいと考えます。

女性部

花々で訪れた人を元気に！

J.A.ところ女性部（寺町敬子部長）は5月31日、常呂厚生病院前の花壇整備を行い、女性部役員、病院関係者ら15人が参加しました。

今回、岐阜地区的藤澤孝子さんに花苗を依頼し、藤澤さんが丹精込めて育てた花苗は、同病院の入院患者及び外来受診の皆さん「心の癒しになれば」という想いを込め、参加者皆さんの手により一つ一つ丁寧に植え付けられました。

今年も花壇には、マリーゴールドやサルビアなど色とりどりの花が綺麗に咲いており、お近くを通られた際には、ぜひご覧下さい。



花壇整備に参加した皆さん

の取り組み

フラワー ボールが完成しました！

J.A.ところ女性部は6月7日、女性部役員10人が参加しJA事務所前のフラワー ボール作りを行いました。

フラワー ボール用のポット作りをJA倉庫で、め込み作業をJA横で行い、円形状の枠に赤・白・ピンク3色のペコニアが植えされました。

間もなく1カ月を迎える花も満開に咲き誇り、JA事務所を訪れる皆さんの目を楽しませてくれています。お近くにお寄りの際は、ぜひご覧になって下さい。



フラワー ボール作りをした皆さん



日吉地区



福山地区

管理・防除作業のポイント説明 — 第2回移動農事相談 —

5月22日～23日に第2回移動農事相談が、各地区8会場で開催しました。

今回の移動農事相談では、5月下旬～7月までの各農産物の管理作業のポイントと防除作業における注意点について、普及センター・農協より説明を行いました。特に秋播き小麦の止葉期以降の施肥と赤さび病防除のタイミングについて重点的に説明を行いました。

また、5月20日の暴風の被害状況について併せて説明を行いました。今回の移動農事相談は各地区全体で117戸（81%）の参加となりました。

なお、移動農事相談終了後、資材課による肥料取りまとめの説明が行われました。

洗浄作業終了

—鉄コン配布—



● 鉄コンが崩れないようにしつかり固定

JJAといひは、5月上旬よりジャガイモシストセンチュウ拡散防止対策として取り組んでいたスチールコンテナの洗浄作業が終了しました。6月5日～7日の3日間、玉葱選別工場で玉葱用として約2,000基を配布しました。

6月13日には種・加工馬鈴薯用約1,000基のスチールコンテナを配布しました。



信用部 金融共済課
古川 瞳

盛夏の候、組合員の皆様におかれましては、ご多忙の毎日をお過ごしの事と存じます。さて、私事ではございますが6月をもちまして退職致しました。

平成20年に入組し、金融共済

課6年間、資材課3年間、経営相談課2年間と11年に亘り勤めさせて頂き、多くの経験をすることができました。

在職中は何かご迷惑をお掛けすることもございましたが、皆様の温かいご指導、ご厚情に支えられながら今日まで有意義に過ごさせて頂きましたことを心から厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、組合員皆様、役職員の皆様の益々のご健勝とご多幸並びに常呂町農業と常呂町農協のさらなる発展を祈念申し上げ、退職の挨拶とさせて頂きます。誠にありがとうございました。



生産部 販売課
神作 陽香

仲夏の候、組合員の皆様におかれましては、益々ご繁栄ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、私事ではございますが6月末日をもちまして退職致しました。

平成24年入組以来、管理課で

4年間、販売課で3年間勤務させて頂き沢山の経験をすることができた7年間でした。

在職中は何かご迷惑をお掛けすることもございましたが、皆様の温かいご指導、ご厚情に支えられながら今日まで務めることが出来ましたことを厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げ、退職の挨拶とさせて頂きます。7年間本当にお世話になり、誠にありがとうございました。

堆肥の散布・保管に注意しましょう!

- 高温時に堆肥・液肥を散布した際は、悪臭を防止するため散布後、直ちにすき込みましょう。
- 運搬時には、堆肥を道路に落とさないよう注意しましょう。
- 堆肥が、河川や明渠排水等に流出すると環境や生態系に影響を及ぼします。土盛りするなど適切に保管しましょう。

×悪い例

河川・明渠排水等

堆肥の液汁(汚水)が河川へ流出
(自然環境に悪影響)

集積した堆肥

○良い例

河川・明渠排水等

堆肥と河川等の間に土盛りを施し、液汁の流入を防ぐ

集積した堆肥

※ 営農集団長会による環境委員会の設置により、関係機関による堆肥保管状況調査実施の際に、各営農集団の環境委員が同行し調査を実施致します。
なお、調査時期は7月中旬頃を予定しております。



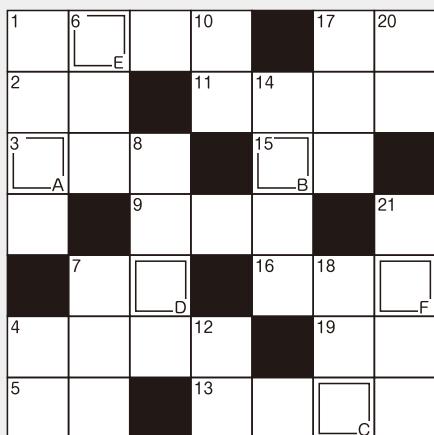
第4回理事会報告

1. 2019年度ディスクロージャー誌について
ディスクロージャー誌を承認し、金融店舗へ備え付けることで承認されました。
 2. 令和元年度コンプライアンスプログラムの制定について
原案の通り制定することで承認されました。
 3. 固定資産取得について(100万円以上)
令和元年度事業計画に基づき、つぎの固定資産を取得することで承認されました。
 - 取得物件 玉葱工場計数処理装置
 - 取得物件 にんにくカメラ式選果機一式
 - 取得物件 営農企画課公用車
 4. 固定資産取得について(100万円以上計画外)
 - 取得物件 南町職員住宅改修工事
 - 取得物件 冷蔵3号貯蔵施設舗装補修拡張工事
- 〈報告事項〉**
1. 固定資産の取得について(100万円以下)
 2. 第14回組合員交流会の実施について
 3. JAバンク基本方針に基づく「財務モニタリング報告」「体制整備モニタリング報告」について
 4. 暴風被害について
 5. 糞尿車輌の処分について
 6. 砂糖の消費拡大に向けた生産者・関係者取り纏めについて

行事予定表

7月1日(月)~7月31日(水)

7月3日(水)	加工芋フィールドデー	7月15日(月)	海の日
7月5日(金)	玉葱振興会夏季交流会	7月18日(木)	JA川東牧場相馬神社祭
7月6日(土)	閉組日	7月19日(金)	第6回定例理事会
7月7日(日)	役員海外視察研修(～14日)	7月20日(土)	閉組日
7月11日(木)	JAところ女性部夏季視察研修	7月27日(土)	閉組日
7月13日(土)	閉組日	7月28日(日)	農休日



Crossword Puzzle ～クロスワード・パズル～

二重マスの文字をA～Fの順に並べ替えて出来る言葉はなんでしょうか?

ヨコのカギ

- ①七夕に彦星と会います
- ②オフの反対語
- ③スズでめっきした鉄板。一斗缶やバケツなどに用いられます
- ④手紙のやりとりで交流すること
- ⑤ナイアガラ川にあるものが有名
- ⑥時計を掛けたり絵を飾ったり
- ⑦京都市で行われる祇園祭は〇〇〇神社の祭礼です
- ⑪高倉健主演の映画「〇〇〇〇の黄色いハンカチ」
- ⑬百貨店ともいいます
- ⑮〇〇は友を呼ぶ
- ⑯何人かでバトンをつなぐ競走
- ⑰息を吸うと膨らむ臓器
- ⑲観光、夜行、2階建てといえば

タテのカギ

- ①大丈夫だから、〇〇〇〇に乗ったつもりで待っててね
- ④ブービーと鳴きます
- ⑥高校の公民の教科の一つ
- ⑦新鮮な空気を取り込んで汚れた空気を追い出すこと
- ⑧お好み焼きにたくさん入れる葉野菜
- ⑩彼とは同じ釜の〇〇を食った仲だ
- ⑫肩と手首の間
- ⑭酸と混ぜると中和反応が起きます
- ⑯米国の50番目の州。南の島です
- ⑱焼き肉店のメニューで、肝臓のこと
- ⑳由緒ある神宮や夫婦岩で知られる三重県の市
- ㉑一番良い物はベスト、一番悪い物は

先月の当選者・解答

6月号のまちがい探しの答えは、「1、3、6、9、12」でした。
抽選の結果、次の方が当選しました。
おめでとうございます。

川崎由一さん(土佐)

※()内は地区名です。

応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えると広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。
抽選で、鮓の安さんの寿司券をプレゼントします。

読者の声

★いつも広報を楽しみにしています。

(匿名希望)

たくさんのご応募
お待ちしております!

農業を担う青年たち

No.1

※今年度の新規就農者の皆さんを今月号から6回にわたってご紹介致します。

富丘地区 森澤 佑紀さん 〈父：博人さん〉

○生年月日

平成9年1月21日（22歳）

○最終学歴

釧路公立大学

○就農にあたっての抱負

仕事を早く覚えて利益を伸ばせる農家になりたい！

○学校で学んだこと

経営学について

○趣味

ドライブ



牛を送り出す酪農家さん



元気よく入牧する牛たち

**大きくなれて
帰ってきてね！**

—農協川東牧場に97頭が入牧—

JJAところ（川上和則組
会長）は、本年度の農協川
東牧場への入牧を5月20日
に行いました。

入牧作業は、酪農家やJ
JA職員の他、北見市常呂総
合支所からも応援を受け行
われ、97頭の元気な乳牛が

放牧地へと駆け出して行き
ました。 入牧を行った酪農家は
「元気に育つて帰つてこい
よ」と牛たちに向かって呼
び掛けていました。 今回入牧された牛たちは、
退牧を迎える10月に健康で
元気に大きく育つた姿を見
せてくれるでしょう。

編集後記

- 1年間の半分が終わり、つくづく月日の経過は早いと実感します。
 - 最近、私はドライブ中などに他地域の作況状況を常呂町と比較したり、常呂町で栽培していない作物を見たりするようになりました。本年も天候に恵まれ、良い出来秋となることを職員一同願っております。
- 《営農企画課：広報担当》

次世代を担う 若者たち

馬鈴薯の病害株抜き取り作業を行う植松和希さん

今月の表紙は、福山地区の植松和希さん（20）です。種馬鈴薯の病害株の抜き取り作業をポテトセレクトカートに乗って行っているところを取材させて頂きました。

農作業の合間に、今後の抱負について聞くと植松さんは「就農3年目となり、一人で仕事を任されることも多く自信を持って仕事をすることができますようになってきた。父は丁寧に仕事を行う方なのでそれを学びつつ効率の良い農業ができるようになりたい！」と話してくれました。

農作業中にも関わらず、取材、撮影にご協力いただきましてありがとうございました。

